

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		のびっこらんど三春(放課後等デイサービス)		公表日		令和7年 3月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		基準上適正であり、構造化するなど配慮しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		保育士を2名配置しています。言語聴覚士1名配置しています。	職員を5人体制にし手厚く支援していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		玄関スロープや点字ブロック、多目的トイレを設置しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日の清掃、遊具などの消毒を定期的に行っています。活動に合わせて構造化しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		個別の部屋があります。お子さんの特性に合わせてお部屋を使用できます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		職員全員で参加しています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的アンケートに実施し、ご要望を踏まえて改善や内容の見直しをしています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員全員で参加して効率的業務遂行できるように工夫しています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	ボランティアの導入や法人の事業所間での評価により業務改善に繋げています。	今後第三者による外部評価できるように検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		専門的研修と保護者向けのサロンに参加し、積極的に学んでいます。	感染症に対応しzoomを導入し、オンラインの研修も行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムを作成しています。	ホームページや紙面にて公表します。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		面談や利用アンケートなどで保護者様やお子様様のニーズを分析し、個別計画書に反映させています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		利用会議を実施し共通理解を図っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		利用会議を実施し共通理解を図っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		アセスメントツールは利用しているが、標準化はされていない。（適応年齢の関係で）		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域連携・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		面談や利用アンケートなどで保護者様やお子様様のニーズを分析し、個別計画書に反映させています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		集団指導、個別指導においてもチームでアプローチしています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		集団指導、個別指導においてもチームでアプローチしています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		集団指導、個別指導においてもチームでアプローチしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		日々打ち合わせをし連携を図っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援の中で気づいた点、ヒアリ・ハットなど共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		詳細に記録をとると共に支援の検証に繋がっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		定期的にモニタリングを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		自己決定できるようにツールを使用しています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		相談支援事業所と連携し、参加を呼びかけています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		ケア会議を実施し移行支援をしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		保護者と共有しながら下校時間の調整などこまめに対応しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5		共通理解を図るため、必要に応じてケア会議を実施し移行支援をしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5		共通理解を図るため、必要に応じてケア会議を実施し移行支援をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5		たむら児童発達支援センターと連携を図り、研修会にも積極的に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5		併用しているお子さんが多いので機会は設けてないが、招待などあれば参加しています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5		自立支援協議会の子ども部会と事業所部会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		子どもの様子を連絡帳などを利用して丁寧に伝えています。	送迎時など保護者やご家族に会える時は状況を伝えています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		ペアレントトレーニングプログラムへの参加を促すなど機会の提供を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか。	5		今後とも丁寧にわかりやすく説明していきます。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		アセスメント時、ご本人の希望を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		丁寧に説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		いつでも相談できる体制をとっています。また、相談日を設けています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	兄弟同士の交流の機会はなかなか設ける時間がないように思う。	本人やご家族の希望を尊重しながら交流の場を検討していきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		保護者からの相談があった場合は自分だけではなく、スタッフ全員で対応に努めて参ります。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		広報誌の記事を作成し定期的に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		契約時に個人情報の取り扱いに関する書面を用いて説明しています。また職員に対する研修を実施しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		絵カードや写真カードを用いてわかりやすく伝えていきます。またパソコンを活用して情報の伝達に努めています。	タブレットを使用している環境整備に努めています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		見学や行事に地域の方を招待して事業所を知ってもらえるように工夫しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		各自マニュアルの整備に努め、職員全員に周知しています。また事業所内に設置しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		年間を通して防災訓練の計画をしており、防災訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	保護者、家族に契約時必ず確認して、書面に記載して頂き、職員間で共有しています。	アレルギー調査を全員に実施し、保護者の指示に基づいた対応をしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		常に職員間で情報交換をし共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止研修に積極的に参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		このような事例は今のところありません。		